

注意報

3 病 第 2 0 号
令和 3 年 8 月 2 5 日

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病虫害発生予察注意報第 2 号

作物名 水稻（中晩生：ヒノヒカリ、京の輝き、祝、新羽二重糯）
病虫害名 穂いもち

- 1 発生地域 府内全域
- 2 発生量 平年比多い
- 3 防除時期 穂ばらみ期～穂揃期
- 4 注意報発令の根拠

- (1) 8月中旬に行った巡回調査の結果、葉いもちの発生は平年比多い（+）（表1）。
- (2) 8月中旬に行った巡回調査の結果、穂いもちの発生は平年比やや多い（+）（表2）。
- (3) 箱施用薬剤の効果が低下する時期を迎えている。
- (4) 向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並又は少ないと予想されている（8月19日大阪管区气象台発表）。

表1 葉いもち巡回調査結果(8月第3～4半旬)

地域	項目	本年	平年値
山城	発生ほ場率(%)	83.3	30.0
	発病株率(%)	21.3	3.6
	発病葉率(%)	1.01	0.05
南丹	発生ほ場率(%)	66.7	25.5
	発病株率(%)	17.3	5.0
	発病葉率(%)	1.35	0.09
中丹	発生ほ場率(%)	33.3	15.0
	発病株率(%)	14.7	0.9
	発病葉率(%)	0.59	0.11
丹後	発生ほ場率(%)	33.3	20.0
	発病株率(%)	5.8	3.4
	発病葉率(%)	0.61	0.09
府全体	発生ほ場率(%)	53.3	22.7
	発病株率(%)	14.1	3.4
	発病葉率(%)	0.91	0.09

※発病葉率：上位2葉の発病率。

表2 穂いもち巡回調査結果(8月第3～4半旬)

地域	項目	本年	平年値
山城	発生ほ場率(%)	0.0	12.5
	発病株率(%)	0.0	0.5
	発病穂率(%)	0.00	0.03
南丹	発生ほ場率(%)	11.1	21.1
	発病株率(%)	4.9	3.5
	発病穂率(%)	0.47	0.19
中丹	発生ほ場率(%)	0.0	10.0
	発病株率(%)	0.0	1.3
	発病穂率(%)	0.00	0.07
丹後	発生ほ場率(%)	33.3	5.6
	発病株率(%)	1.8	0.4
	発病穂率(%)	0.18	0.02
府全体	発生ほ場率(%)	14.8	11.7
	発病株率(%)	2.2	1.7
	発病穂率(%)	0.22	0.09



写真 葉いもち(左) と 穂いもち(右)

5 防除上の留意事項

- (1) 上位葉へ進展した葉いもちの病斑は、穂いもちの重要な伝染源となる。
- (2) ヒノヒカリ、祝など発病しやすい品種や、すでに葉いもちが多発しているほ場、山間部では特に注意し、防除適期に薬剤防除を実施する。
- (3) 出穂後曇雨天が続く場合には、傾穂期前後にも防除を行う。特に枝梗は遅くまで菌の侵入を受けるので、枝梗いもちの発生に注意する。
- (4) 葉いもちの発生が多い場合は、治療効果がある薬剤(カスガマイシン剤：商品名カスミン剤等、フェリムゾン・フサライド剤：商品名ブラシン剤等)で防除する。
- (5) 防除の際には、周辺ほ場に農薬が飛散しないよう十分に注意する。
- (6) 農薬の選択に当たっては普及センター、農協等と相談し、使用時期(収穫前日数)や使用回数等の使用基準を遵守して適正に使用する。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」を参照のこと。
(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>)

<参考>

京都府推奨品種の中生品種：京の輝き、祝、新羽二重糯
 “ 晩生品種：ヒノヒカリ